

(配布先)

施工担当部署長・建設所長・設備部長  
副部長、副所長、統括工事長(建築・土木)  
安全長・安全主任  
関西支店取引業者災害防止協議会  
S・BLC関西社

事務連絡(安-2019-34)

令和元年10月11日

関西支店

安全環境部長 

### 【紙回覧】台風等悪天候への対応について(指示)

安全環境本部長より指示がありましたので連絡します。

当社では、昨年、悪天候の対応時に死亡事故が発生しています。  
添付資料を各作業所へ配布して、同種災害が発生しないように、第一線の作業員まで  
周知して下さい。

なお、安全環境部長、総務部長連名の事務連絡 台風19号の接近に伴う対応に  
ついてを参照してください。

以 上

(配布先)  
関係部門長・支店長  
部門安全管理総括責任者  
部門安全環境部長

示達本(安環安)19-07  
令和元年10月11日

安全環境本部長



### 台風等悪天候への対応について(指示)

台風19号への対応については、示達本(安環安)19-06で指示したところですが、台風の影響下に入ってからでは予期せぬ事態にならないとも限りません。また、突発的な被害への対応が必要になることも想定されます。

当社では、昨年、悪天候の対応時に死亡災害が発生しており(別紙1,2参照)、類似災害を再発させないため、悪天候等に伴う点検・調査、措置・被害対応について、下記事項を厳守するよう改めて指示します。

#### 記

1. 悪天候等に伴う対応の可否判断については、人命第一を基本とする。
2. やむをえず点検・調査をする場合は、必ず2名以上で実施し、退避及び異常時の伝達が速やかにとれる体制とする。
3. 措置・被害対応については、作業手順の検討を実施し安全を確保する。

以上

(配布先)  
 関係部門長・支店長  
 (写) 部門安全管理総括責任者  
 部門安全環境部長

示達本(安環安)18-05  
 平成30年7月30日

安全環境本部長



### 悪天候<sup>※1</sup>等に伴う対応について(指示)

先日、当社造成工事作業所において、排水用仮設沈砂池の大雨対策作業中に、堅排水管(φ500)から作業員3名が排水管内を数百m流され、1名が死亡、2名が負傷するという重大災害が発生しました。

降雨による増水で当該沈砂池の堅排水管に入ったバイオログフィルター(φ300 L2,000/工事等で発生する濁水を濾過・浄化するヤシ繊維成型材)を撤去しようとした際に、下半身を呑み込まれた同僚とその救助に当たった作業員2名が、水の流れに抗しきれず排水管内に流されたものです。

当日の作業指示は「点検」でしたが、朝の点検でバイオログフィルターの浮遊という異常が確認されたため、KYミーティングは実施したものの、場内他工区の対応に当たっていた当社に報告することなく同フィルターの撤去作業が行われたもので、当社と取引業者による作業手順の検討がなされなかったことは誠に残念です。

当社では、過去に台風に伴う応急対策工事で潜水士が溺死する死亡災害が発生しており(別紙1参照)、悪天候等に伴う対応には予期せぬ事態への注意が必要です。

つきましては、同種災害を防止するため、悪天候等が予想される場合の対応、悪天候等に伴う点検及び措置について下記事項を厳守するよう指示します。

#### 記

1. 悪天候等に伴う対応の可否判断については、人命第一を基本とする。
2. 点検については2名以上で実施し、退避及び異常時の伝達が速やかにとれる体制とする。
3. 異常がある場合は必ず当社へ報告させ、措置が必要な場合は、作業手順の検討を実施し安全を確保する。

以上

※1) 悪天候：昭和34年2月18日付労働省(当時)による定義

強風	10分間の平均風速が毎秒10m以上の風
大雨	1回の降雨量が50mm以上の雨
大雪	1回の降雪量が25cm以上の雪

※添付資料①「異常気象時の危険想定とその対策」土木東京支店 編

添付資料②「土木工事安全施工技術指針(抜粋)」国土交通省大臣官房技術調査課 編

災害速報

No. 1

部門  
部署

作業員3名が仮沈砂池の縦排水管に流される  
(1名死亡、2名は意識あり)

略称

工事所在地  
工事名称

工期  
2017.4.24 ~ 2019.11.30  
請負金 44億4100万円

工事長

発生日時	災害・事故の発生状況		経験年数
平成30年7月5日(木) 午前9時20分頃	<p>午前8時より、降雨後の現場点検(仮沈砂池)を6名で行っていた。 作業員Aが仮沈砂池3Dに水がたまり、縦排水管(Φ500)廻りのフィルター材(パイオログフィルター)が外れて浮かんでいるを発見した。縦排水管にフィルター材が流れ込むのを防ぐため、泳いで縦排水管に渡り、フィルター材にロープをかけて、バックホウで引っ張って回収していた。 その時に、Aが足を取られ、縦排水管に呑み込まれそうになったので、一緒に作業していた作業員B、作業員C、他2名が助けようと、仮沈砂池に飛び込んだ。 しかし、水の勢いが強かったため、A・B・Cの3名が縦排水管に呑み込まれて、縦排水管と接続されている排水管を通して下流に流された。2名(A、B)は下流3号調整池の呑口、沈砂池で救出され、Cはさらに下流で救出された。 救出された際、AとBは意識があったが、Cは意識不明であった。3名とも直ぐに病院に搬送したが、11:46にCの死亡が確認された。</p>		36年
被災者氏名			作業所勤務日数
(59)才			170日
所属および職種			当該作業関係労働者数
1次業者			6人 (被災者所属グループの人数を記入)
雇用業者(1)次	家族		
職種 土工	妻、子3名		
兼喜会(加入)	病院名		
災防協(加入)			
互助会(加入)			
受傷部位	発注者	JV状況	
頭蓋骨骨折による 出血性ショック死		単独	
工事進捗状況			
30%	社長	副社長	本部長 安全環境本部 (7月9日) 7/5 伊藤本部長現地調査